

---

# 釧路市社会教育推進計画

---

## 第1次（平成30年度）実施計画 評価結果

## 評価の目的と評価表の見方

### 1. 評価の目的

釧路市教育委員会では、下記事項を目的に「釧路市社会教育推進計画（以下計画という）」の評価を実施します。

#### 1) 事業推進の現状認識と改善

釧路市の社会教育を計画的に推進するために、各種事業が計画に沿ったものかどうか、事業実施の手段や進め方が正しいかどうかなど、事業結果や推進方法等を点検・評価し、成果や現状課題を認識し、後年度の事業計画へ反映する。

※マネジメントサイクルの確立

Plan（計画）⇒ Do（実行）⇒ Check（評価）⇒ Action（改善）のPDCAサイクルにより、成果を重視して事業改善に結びつける。

#### 2) 職員の意識改革

社会教育委員による計画の評価は、行政において「常に市民に見られている」という、職員一人一人の意識改革につながり、よい意味での緊張感を与え、成果を重視した目的をもった事業の展開が期待できる。

#### 3) 市民への説明責任の遂行

計画の進捗状況や、事業の評価結果を市民に公表することで、行政の透明性を高め、市民の視点に立った事業の推進が図られるなど、市民ニーズを反映した市政運営が可能となる。

## 2. 評価表の見方

### 1) 行政が行う事業評価

計画の「具体的な施策」達成のための事業評価であり、ねらいに沿っての到達度評価について、社会教育（生涯学習）推進への貢献度（成果）を考慮し「4段階（A～D）」で評価する。

A：ねらいの9割以上が達成

B：ねらいの7割以上が達成

C：ねらいの5割以上が達成

D：ねらいの5割未満の達成

### 2) 社会教育委員が行う計画評価

計画の「具体的な施策」が達成されたかどうか、事業内容等を精査し、社会教育（生涯学習）推進への貢献度（成果）を考慮して総合的に判定する。主観的評価をもって「5段階（A～E）」で評価する。

A: 計画に沿った事業展開がなされ、成果が十分にあった。具体的な施策が達成された。

B: 計画に沿った事業展開がなされ、成果は上がっているが、具体的な施策の達成に至っていない。

C: 一定の成果はあったが、具体的な施策の達成のための事業改善が必要である。

D: 成果が十分に上がっておらず、具体的な施策達成のための事業改善や、新たな事業の開発が必要である。

E: 成果がほとんどなく、廃止を視野に入れた事業の抜本的見直しが必要である。

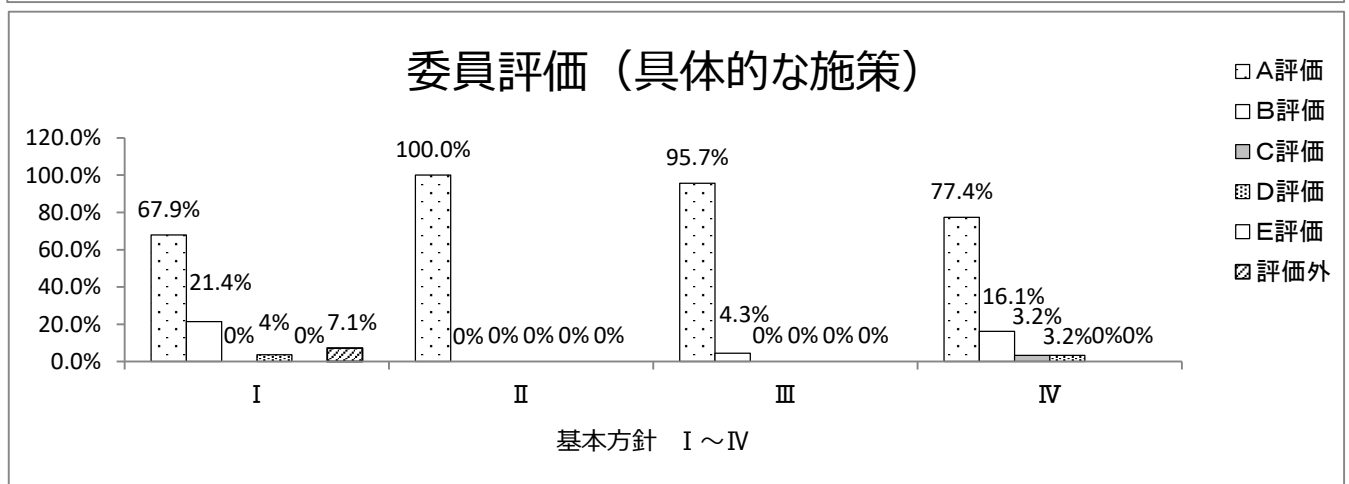
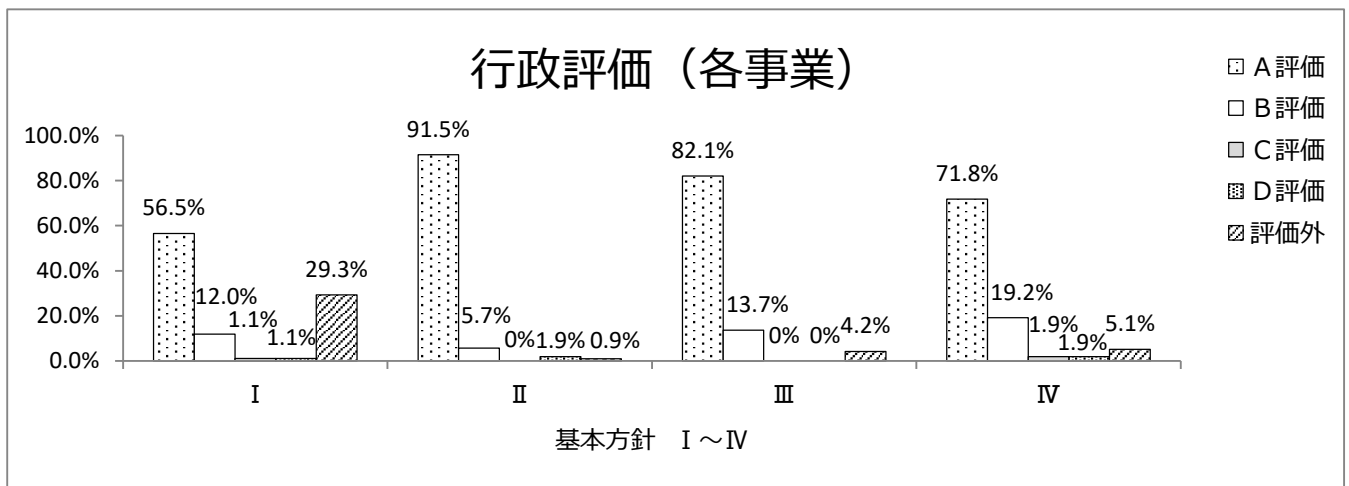
## 3. 評価対象外事業

評価に馴染まない（できない）事業を評価対象事業から除きます。

- ・天候等による何等かの理由で実施できなかったもの
- ・教育相談や補導活動等、評価できないもの
- ・教育委員会以外（市長部局等）が実施した事業

# 釧路市社会教育推進計画第1次（平成30年度）実施計画評価結果

全事業数		全施策数		A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外
449		101		行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）					
				339	60	4	6	40	84	12	1	2	0	2
				75.5%	13.4%	0.9%	1.3%	8.9%	83.2%	11.9%	1.0%	2.0%	0%	2.0%
I	事業数	施策数	52	11	1	1	27	19	6	0	1	0	2	
	92	28	56.5%	12.0%	1.1%	1.1%	29.3%	67.9%	21.4%	0%	4%	0%	7.1%	
II	事業数	施策数	97	6	0	2	1	19	0	0	0	0	0	
	106	19	91.5%	5.7%	0%	1.9%	0.9%	100.0%	0%	0%	0%	0%	0%	
III	事業数	施策数	78	13	0	0	4	22	1	0	0	0	0	
	95	23	82.1%	13.7%	0%	0%	4.2%	95.7%	4.3%	0%	0%	0%	0%	
IV	事業数	施策数	112	30	3	3	8	24	5	1	1	0	0	
	156	31	71.8%	19.2%	1.9%	1.9%	5.1%	77.4%	16.1%	3.2%	3.2%	0%	0%	



I	92事業	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外	
		行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）						
1	(1)	ア	3				3	1					
		イ	1					1					
		ウ	1				3	1					
		エ	1					1					
	(2)	ア	1					1					
		イ	4				1	1					
		ウ					8						1
2	(1)	ア	2	2					1				
		イ	5	1	1			1					
		ウ					1						1
	(2)	ア	1	1			1	1					
		イ	2				1	1					
3	(1)	ア	3					1					
		イ	1	2			1		1				
	(2)	ア	1	1					1				
		イ	1	1				1					
	(3)	ア	3				2	1					
イ		1				2	1						
4	(1)	ア	9	1			1	1					
		イ	2					1					
	(2)	ア	3					1					
		イ	2					1					
		ウ	1					1					
	(3)	ア	2					1					
		イ					1				1		
	(4)	ア	1				2		1				
		イ		1					1				
ウ		1	1			1		1					
合計		<b>52</b>	<b>11</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>27</b>	<b>19</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	

Ⅱ	106事業	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外	
		行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）						
1	(1)	ア	14					1					
		イ	1					1					
		ウ	5	1				1					
		エ	7					1					
		オ	10				1	1					
	(2)	ア	2	1				1					
		イ	3					1					
		ウ	2					1					
		エ	7					1					
		オ	16					1					
2	(1)	ア	4	1				1					
		イ	1					1					
		ウ	3	1				1					
	(2)	ア	5			2		1					
		イ	3	1				1					
3	(1)	ア	4					1					
		イ	3					1					
	(2)	ア	4					1					
		イ	3	1				1					
合計		<b>97</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>19</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

Ⅲ	95事業	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外
		行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）					
1	(1)	ア		1				1				
		イ	2				1					
		ウ	3	2			1					
	(2)	ア	3				1	1				
		イ	2	1				1				
		ウ	1					1				
		エ	2	1				1				
オ	2					1						
2	(1)	ア	3				1					
		イ	7				1					
	(2)	ア	10				1	1				
		イ	7					1				
	(3)	ア	8	3			1	1				
		イ	2	1				1				
ウ		3					1					
3	(1)	ア	3				1					
		イ	1				1					
	(2)	ア	4	3				1				
		イ	6				1	1				
		ウ	3					1				
	(3)	ア	3	1				1				
		イ	2					1				
ウ		1					1					
合計		<b>78</b>	<b>13</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>22</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

IV	156事業	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外	
		行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）						
1	(1)	ア	5	1				1					
		イ	1					1					
	(2)	ア			1	1	1				1		
		イ	12	4	1	1		1					
2	(1)	ア	13	4		1	1	1					
		イ	8	3				1					
		ウ	7	1				1					
		エ	3	1			2	1					
	(2)	ア	2	2				1					
		イ	5	3				1					
		ウ	3	1				1					
	(3)	ア	1	2				1					
イ			1					1					
3	(1)	ア	3					1					
		イ	11					1					
		ウ	1				2	1					
	(2)	ア	1	1						1			
		イ	4	2			1		1				
	(3)	ア	1	1				1					
		イ	1						1				
		ウ		1					1				
エ	1					1							
4	(1)	ア	9					1					
		イ	1				1	1					
		ウ	4					1					
	(2)	ア	3		1			1					
		イ	4	1				1					
		ウ	1					1					
	(3)	ア	6					1					
		イ		1					1				
ウ		1					1						
合計		112	30	3	3	8	24	5	1	1	0	0	



## 釧路市社会教育推進計画第1次（平成30年度）実施計画評価結果

全事業数		全施策数	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外
449		101	行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）					
			<b>339</b>	<b>60</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>40</b>	<b>84</b>	<b>12</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>2</b>
			75.5%	13.4%	0.9%	1.3%	8.9%	83.2%	11.9%	1.0%	2.0%	0%	2.0%
I	事業数	施策数	52	11	1	1	27	19	6	0	1	0	2
	92	28	56.5%	12.0%	1.1%	1.1%	29.3%	67.9%	21.4%	0%	4%	0%	7.1%
II	事業数	施策数	97	6	0	2	1	19	0	0	0	0	0
	106	19	91.5%	5.7%	0%	1.9%	0.9%	100.0%	0%	0%	0%	0%	0%
III	事業数	施策数	78	13	0	0	4	22	1	0	0	0	0
	95	23	82.1%	13.7%	0%	0%	4.2%	95.7%	4.3%	0%	0%	0%	0%
IV	事業数	施策数	112	30	3	3	8	24	5	1	1	0	0
	156	31	71.8%	19.2%	1.9%	1.9%	5.1%	77.4%	16.1%	3.2%	3.2%	0%	0%

## 釧路市社会教育推進計画第5次（平成29年度）実施計画評価結果

全事業数		全施策数	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外
465		98	行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）					
			<b>332</b>	<b>62</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>54</b>	<b>78</b>	<b>12</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>3</b>
			71.4%	13.3%	1.7%	1.9%	11.6%	79.6%	12.2%	2.0%	3.1%	0%	3.1%
I	事業数	施策数	51	11	0	3	24	21	3	0	1	0	2
	89	27	57.3%	12.4%	0.0%	3.4%	27.0%	77.8%	11.1%	0%	3.7%	0%	7.4%
II	事業数	施策数	95	10	1	2	8	17	1	0	1	0	0
	116	19	81.9%	8.6%	0.9%	1.7%	6.9%	89.5%	5.3%	0%	5.3%	0%	0%
III	事業数	施策数	79	15	1	0	8	19	2	0	0	0	1
	103	22	76.7%	14.6%	1.0%	0%	7.8%	86.4%	9.1%	0%	0%	0%	4.5%
IV	事業数	施策数	107	26	6	4	14	21	6	2	1	0	0
	157	30	68.2%	16.6%	3.8%	2.5%	8.9%	70.0%	20.0%	6.7%	3.3%	0%	0%

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
1 人権教育の推進	(1) 人権尊重体制の充実を推進	ア 関係機関との連携により、「いじめ」「DV」「児童虐待」等の人権を踏みしめる行為を絶対に許さない、隠さない、見のがさないという意識を醸成します	「少年の主張」釧路市大会	教育支援課	A	A	日常生活の中で抱く思いや考えを発表する機会は大変貴重である。「少年の主張」では参加者が広い心を持って社会の一員として、他者への思いやりを述べており、立派だった。しかし、会場は関係者が殆どを占める為、教育大学に案内を送付したり、市役所ロビー等で映像を流し、市民の方々に見てもらうなどの機会を設けるなどの方がよい。また、「いじめ」「DV」「児童虐待」等の人権を踏みしめる行為防止のため、スクールソーシャルワーカー等を配置し、教育相談や緊急通報の整備を行うなど、学校と関係機関をつなぐ支援体制が充実してきていると感じる。今後も、事実を「隠さず・見過ごさず・見逃さず」具体的な行動目標を徹底してほしい。また、スクールカウンセラーについては更なる学校配置を望むと同時に、電話相談件数は減少が顕著のため、時代に合わせた相談体制の見直しを検討するべき。
			いじめ問題総合対策事業	教育支援課	A		
			DV・虐待防止	教育支援課	A		
			DV・虐待防止	子ども支援課	—		
			女性保護事業	子ども支援課	—		
			児童虐待対策事業	子ども支援課	—		
		イ 人権に関する学習会や講座の実施等により、性別、年齢、障がいの有無、出自、宗教等で差別のない、誰もが参画できる平等な社会づくりのための取組を行います	ノーマライゼーションの学習	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	ノーマライゼーションの学習は貴重な機会だと考える。特に市民学園講座の中で体験学習を通じて実施されており、評価できる。最近の世相は不寛容・排他的であり、生活保護や障がいの有無・LGBTなどの少数派や弱者に対する「ツッパ」が目立っている。人権に関する学習をもっと推進し、誰もが不自由なく暮らすことができ、かつ、気軽に参画できる平等な社会づくりを進める事業として、更に内容の充実を図り、広く市民への関心を喚起されるよう期待する。
		ウ 人権侵害を受けた方への相談・支援体制を充実させます	【再掲】DV・虐待防止	教育支援課	A	A	学校と関係機関を繋ぐ支援体制が評価できる。今後は、オレンジリボンを関係団体に配布するなどの啓発活動の充実を図りつつ、継続して実施してもらいたい。
			【再掲】DV・虐待防止	子ども支援課	—		
			【再掲】女性保護事業	子ども支援課	—		
	虐待防止センター事業		障がい福祉課	—			
	エ 「社会を明るくする運動」等、関係機関と連携し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深める取組を行います	社会を明るくする運動	教育支援課	A	A	当運動は更生保護関係団体を始めとする各団体が連携協力して実施している全国運動だが、開始式及び街頭啓発で地元クレインズの選手や幼稚園児などの参加を含め、広く市民へ周知を行っており、高く評価する。今後も互いに助け合う心を醸成し、地域の絆を深め、明るい社会づくりにつながる様に、取り組みの継続を願う。	
	(2) ションの理念の実現	ア 互いを認め合う学習活動の推進に努めます	【再掲】ノーマライゼーションの学習	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	1- (1) -イに同じく、ノーマライゼーションの学習に関する取り組みは重要であると考え。今後は、参加者にアンケート調査を実施し、内容や運営の工夫を行ってほしい。
			イ 発達障がいについての理解と知識を深めるとともに、悩みを共有し、当事者や家族の相談体制の充実と様々な情報のわかりやすい発信に努めます	研究センター研修「特別支援教育Ⅰ」(基礎研究)	教育支援課	A	A
		研究センター研修「特別支援教育Ⅱ」		教育支援課	A		
特別支援教育の実施		教育支援課		A			
教育相談「おいで」		教育支援課(教育研究センター)		A			
ウ 男女平等参画の視点に立った家庭・地域教育の推進、学習機会や情報の提供等、男女平等の意識を高める取組を行います		少年電話相談	青少年育成センター	—	—	事業はよくやっていると思う。また、男女いきいき参画通信の発行は興味深い。今後は、育児手段の学習方法見直しや男女平等参画プランの進捗状況把握が必要と同時に、意識を高めるための事業継続が重要。なお、「ふらっと」がM O O 3 FにあることがH P 上でわかりにくいことと、行政評価が間に合っていない事業がある点の改善を求む。	
		マタニティ講座	健康推進課	—			
		釧路市男女平等参画審議会の開催	市民協働推進課(男女平等参画推進参事)	—			
		女性団体の育成、指導	市民協働推進課(男女平等参画推進参事)	—			
		「くしろ男女平等参画プラン」推進事業	市民協働推進課(男女平等参画推進参事)	—			
	道外派遣事業	市民協働推進課(男女平等参画推進参事)	—				
	男女平等参画に関する情報の提供	市民協働推進課(男女平等参画推進参事)	—				
	男女平等参画センター管理運営事業	市民協働推進課(男女平等参画推進参事)	—				
くしろ男女いきいき参画表彰	市民協働推進課(男女平等参画推進参事)	—					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
2 家庭教育の充実	(1) 親の学習機会の拡充	鉦路市PTA連合会等の関係組織と連携し、 ア 家庭や子育てのあり方について学ぶ機会となる研修会や講座等を開催します	家庭教育支援チームの運営・活用	教育支援課	B	B	教育・福祉両分野の関係者が連携協力しての生活習慣啓発リーフレット活用をはじめ、各種資料を活動の中で取り組んでいることは評価する。今度とも、市P連との連携を密にして保護者の学習機会の拡充を図るとともに、啓発資料の活用や受講者アンケートの利用を継続して欲しい。また、講師やテーマによって講演会の参加人数が変わるので、タイムリーな内容の提起を続けてほしい。	
			家庭教育講座「ほわっと」	教育支援課	B			
			新入学児童保護者説明会「子育て講話」	教育支援課	A			
			家庭教育支援事業「教育講演会」	教育支援課	A			
		親がふれあえる機会の提供として、親子で参加 イ できる体験型学習や子育ての楽しさが体験できる講座の充実に努めます	おそなえもちをつくろう	博物館	A	A		各事業とも内容を工夫していると思われる。親子が共に学習する取り組みは非常に大切であり、鉦路市ALTによる英語絵本読み聞かせやゲームなど計画どおり着実に推進されている。これからは図書館のおはなし会は本館に留まらず、学校と連携して広げてほしい。なお、「親子映画会」については違う企画なども考えた方が良いと思う一方で、参加機会を設けることの意義も大きいため、ニーズに合っているのか精査したうえで検討して欲しい。
			市民学園講座「いきいきライブ講座」	生涯学習センター (生涯学習課)	A			
			おはなし会	図書館 (生涯学習課)	B			
			親子教室	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
	夏休み親子土器作り教室		埋蔵文化財調査センター (博物館)	A				
	親子映画会		音別町ふれあい図書館 (音別生涯学習課)	C				
	ウ 父親の子育てに参画する意識の向上をめざし、各種学習会や講座を開催します	親子ふれあい事業「ヤマベ放流」	音別町青少年健全育成推進協議会 (音別生涯学習課)	A	-	-	事業が継続されるよう、今後とも努力してほしい。	
		【再掲】マタニティ講座	健康推進課	-				
	(2) 子育て支援の体制づくり	ホームページや「広報くしろ」等により、子育てサークル ア の活動や、講座・学習会等の情報をわかりやすく提供します	ホームページ等による各施設情報公開	生涯学習課	A	A	「広報くしろ」への情報提供やホームページへの最新情報掲載はともにわかりやすく、丁寧な内容で良いと思う。今後は家庭支援の対象への直接的な働きかけの工夫等に期待したい。また、家庭教育通信「はぐくみ」は発行継続して欲しい。どんなことで悩んでいるのか、生の声も知りたいと思う。	
			家庭教育支援チームによる情報の提供	教育支援課	B			
児童館幼児サークル支援事業			こども育成課	-				
地域の身近な環境の中で、子育てに関する相談 イ の場の確保や、情報交換ができるネットワークづくりを進めます		【再掲】教育相談「おいで」	教育支援課 (教育研究センター)	A	A	相談窓口の一元化、周知方法の工夫で教育相談体制が整備され、充実してきていると評価する。家庭でも「隠さず・見過ごさず・見逃さず」、日常・緊急時双方についての対応が円滑に運営されるよう努められたい。		
		教育相談体制の充実	教育支援課	A				
		子育て支援センター事業	こども育成課	-				

釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅰ 共に認め合う地域社会の構築

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント		
3 地域教育の活性化	(1) 地域ネットワークの強化	ア 地域コミュニティの機能向上のため、コミュニティ・スクールの導入の際には、これまで以上に保護者や地域住民が学校運営に積極的にに関わり、連携を図れるように努めます。	放課後子どもチャレンジ教室	教育支援課	A	A	各事業とも充実していると思われる。地域コミュニティの機能向上を図る上でコミュニティスクールの導入は重要な取り組みであり、着実な拡大推進が図られていることを高く評価する。今後も導入校が広がり、地域コーディネーター・統括コーディネーターの配置および支援体制の強化や、学校や家庭・地域の連携が深まることを期待したい。放課後子どもチャレンジ教室での多岐にわたる学習の実践が図られていることも評価でき、なお一層の充実を期待する。		
			コミュニティ・スクール活用推進事業	教育支援課	A				
			地域学校協働本部事業	教育支援課	A				
		イ 町内会や子ども会等、関係団体相互の連携を深め、地域の活性化に努めます	地域うるおい学習推進委員会運営助成	教育支援課	A	B		町内会や子ども会などの活動が減る中、何とか頑張っていると見受けられる。鳥取西・愛国地域の「うるおい」学習推進委員会運営の見守りなどの活動が、地域のコミュニティづくりや子どもの健全育成に大きく寄与しており、評価できる。また、釧子連、釧健全育成連共に積極的に活動しており運営・助成支援指導を継続されたい。関連情報の提供も含めて、更なる推進に期待する。しかし、地域ネットワークの強化は一概に言えず、組織見直しも必要と考える。	
			釧路市子ども会育成連合会単位子ども会への支援	教育支援課	B				
			青少年健全育成団体への支援	教育支援課	B				
	(2) 地域活動のリーダー養成と活用	ア 地域活動の活性化を図るため、リーダーやボランティアを発掘・養成するとともに、活躍の場の確保と機会の充実に努めます	地域教育指導者養成事業	教育支援課	B	B	学校支援ボランティア研修会支援登録者、地域コーディネーターや統括コーディネーターの配置などで着実に推進されていて、評価する。しかし、コミュニティリーダー養成講座未実施が残念。リーダー等の人材育成が必要。ボランティアの把握や活動の更なる充実を行い、コーディネート機能を担う人材の確保と体制の強化に努め、活動の進展に期待する。ボランティア研修会の開催は継続して欲しい。		
			【再掲】地域学校協働本部事業	教育支援課	A				
		イ 「学校支援ボランティア」「生涯学習人材バンク」等により、地域のリーダーやボランティアの活用を図ります	学校支援ボランティア	教育支援課	A	A			「求むこの力」を発信してほしい。「やってみよう」「自分にもできる」と思ってもらえるような表現の工夫が必要。新規人材バンク登録者0人は活用が充実していないからでは？学校支援ボランティアへの登録が着実に推進されている様だが、具体的な支援内容の周知を強化して多方面から人材の発掘・確保に努めてほしい。
	生涯学習人材バンク登録制度		生涯学習課	B					
	(3) 地域が子どもを育てる取組	ア あいさつ運動や声かけ運動等、子どもが安全・安心に暮らせるよう、地域全体で子どもを見守る体制を整えます	こども110番の家	青少年育成センター	A	A		「こども110番の家」「すずらん活動」「地域イベント巡回活動」等各事業が関係機関と連携しながら、周知活動が着実に推進されていると評価する。子どもの見守りは大事であり、子どもたちが安全に健全に成長できるため、地域がしっかり支える取り組み方法を考える。今後も地域全体で「子どもは地域の宝」の認識をもって更なるあいさつ、見守り活動が浸透することを期待する。	
			すずらん運動	阿寒生涯学習課	A				
			地域イベント巡回活動	音別町青少年健全育成推進協議会(音別生涯学習課)	-				
			広報誌による啓発活動	音別町青少年健全育成推進協議会(音別生涯学習課)	A				
			釧路市地域子育て力強化事業	こども支援課	-				
イ 企業や各種施設等と連携を図り、釧路市全体で子どもを育て見守る体制を整えます		【再掲】こども110番の家	青少年育成センター	A	A	「こども110番の家」のステッカー掲示は、取付店舗、事業所が着実に増加し、子どもを守り育む安全確保に関する環境設備が進んできており、評価する。企業や施設との連携強化を図りながら、協力店舗・事業所の拡充に向け一層の推進に期待する。			
		どさんこ・子育て特典制度	こども育成課	-					
		地域児童健全育成事業	こども育成課	-					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
4 青少年の健全育成	(1) 体験学習機会の充実	多様な自然体験、生活体験、社会体験等の体験学習機会の充実に努め、社会性、公共心を育む活動を行います	赤ちゃんふれあい体験事業	教育支援課	A	A	多様な体験の充実が評価できる。様々な体験を通じて青少年の学びが深まり、健全な育成につながる重要な事業が多くある。ふれあい体験事業は、毎年学校を変え、継続できている。各関係者団体との連携により良い結果となっている。また、毎年未実施だった「ジュニアリーダーコース道東」が実施されたのは大変良かった。各事業が多様な自然体験を通じて社会性や公共心を育み生きる力を身につけさせる事業であるが、小中高生対象の高学年の子どもの参加数が少ない傾向にあるのではないか。参加への工夫とリーダーコースの精査再検討が必要と思われる。
			くしろ子どもインターンシップ事業「チャイルド1DAY・仕事一日体験」	教育支援課	A		
			職業体験事業「くしろキッズタウン」	教育支援課	A		
			釧路市ジュニアリーダー育成事業	教育支援課 (生涯学習センター)	A		
			青少年体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース道東」への派遣	釧路教育局 (教育支援課)	B		
			市民学園講座「まなぼつとわくわく体験隊」	生涯学習センター (生涯学習課)	A		
			市民学園講座「子どもチャレンジ」	生涯学習センター (生涯学習課)	A		
			図書館行事「一日司書体験」	図書館 (生涯学習課)	A		
			宿泊体験学習	阿寒生涯学習課	-		
			チャレンジスクール	阿寒生涯学習課	A		
	子ども1日司書	音別町ふれあい図書館 (音別生涯学習課)	A				
	(1) 体験学習機会の充実	不登校等の問題を抱える子どもたちが、自然体験や集団生活等を通じ、人間関係や社会的スキルを学べる場を提供します	不登校学級宿泊研修支援	教育支援課	A	A	不登校児童・生徒対象の宿泊体験支援は、子どもたちが人と人との関係性を自分の身をもって考え直すことのできる貴重な機会であり、大いに評価できる。また、集団生活を通して協調性や社会性を学び、自己肯定感を身につけることは、極めて意義のある良い事業であり、一定の成果も上がっている。不登校の原因は複合的なものと思われるが、コミュニケーションがとりにくい子どもたちが自分と向き合い、自信が持てるような場であってほしいと願う。今後もより一層充実したプログラムで推進されることを期待する。
			不登校児童生徒宿泊研修	教育支援課	A		
	(2) 多様な活動に参画する子どもの育成	ア 釧路の歴史や文化、自然にふれる研修会や学習会等、子どもたちが郷土の誇りを醸成する活動を行います	【再掲】釧路市ジュニアリーダー育成事業	教育支援課 (生涯学習センター)	A	A	体験学習の面白さを知ってもらい良い機会であり、市P連との協力連携した取り組みは評価したい。だが、各事業に対する効果・評価判定が難しい。今後も継続を願う。
			【再掲】市民学園講座「まなぼつとわくわく体験隊」	生涯学習センター (生涯学習課)	A		
【再掲】市民学園講座「子どもチャレンジ」			生涯学習センター (生涯学習課)	A			
イ 他都市の子どもたちとの文化・スポーツ交流等、互いの郷土の理解を深めるための活動機会を提供します		青少年交流事業「出水市ツル交流」	教育支援課	A	A	友好都市出水市やツル交流ブロンズ像友好の八千代市との交流は、いずれ子どもたちにとっての新鮮な体験であり、互いの郷土への誇りや良さを認識するよい機会。文化・スポーツの交流とともに、郷土の特色ある文化や、踊りや音楽といった芸術の交流も引き続き望みたい。	
		ブロンズ像友好釧路市八千代市青少年スポーツ交流大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
ウ 釧路の子どもたちによるフォーラムや学習会等、全市的な取組を進めます		青少年の心を育む市民フォーラム「釧路の子ども大集合」	教育支援課	A	A	子どものいじめ撲滅や健全育成に向けた事業の「市民フォーラム釧路の子ども大集合」が学校や教育関係者だけでなく、高校・大学や市連町の共催で広く一般市民に啓発を行い、参加者増につなげるその努力を評価する。今後は、一層の拡がり浸透を期待したい。	

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
4 青少年の健全育成	(3) 青少年リーダーの育成	ア 将来的な地域活動のリーダーを育成するため、青少年による学習会や研修会等を実施します	【再掲】釧路市ジュニアリーダー育成事業	教育支援課 (生涯学習センター)	A	A	「ジュニアリーダー育成事業」がH30で中止するのは残念。「チャレンジスクール」は継続してほしい。少子化に伴い、参加者の少ない事業は検討が必要だと考える。スタッフ不足のなか、色々な講座が多すぎる。	
			【再掲】チャレンジスクール	阿寒生涯学習課	A			
		イ 青少年のボランティア活動や社会参加活動を促進するため、青少年が活躍できる場の確保に努めます	シニアリーダーサークル	教育支援課	D	D		今年度も未実施であり、事業の活動実績を残すことができなかったことで評価不可。人が集まらないのは、ボランティア活動や社会参加の意義と目的をはっきりと示せていないのではないか？市P連・釧子連はじめ青少年の健全育成に係る各団体機関への一層の働きかけ、人材の確保および人材発掘のための宣伝に努められたい。
	(4) 非行等の未然防止	ア 関係機関・団体と連携を深めながら、子どもたちへの的確な助言・指導等を行うなど、非行等の未然防止の取組を進めます	補導活動の推進	青少年育成センター	—	B	学校補導協会と特別補導は検討が必要。特に学校補導協会の午後補導は廃止をお願いしたい。近年は平日にゲームセンターに行く子どもはあらず、巡回が教師の負担になっている。祭りなどのイベント時期のみ実施したり、回数減などの改善策などを見直してほしい。各種関係会議を行うことはよかった。釧路では大きな事件など起きていないが全国的な事例を共有し、会が有効に機能するよう努められたい。	
			有害環境浄化活動の推進	青少年育成センター	—			
			心の教育推進会議	教育支援課	A			
		イ ホームページ等の様々な媒体を通じ、非行等を未然に防ぐための情報提供と啓発に努めます	非行や不審者等の情報提供による啓発の推進	青少年育成センター	B	B		非行・不審者等の情報がHPや広報誌等に掲載され、一般市民に周知されるようになってきている。今後も、地域の見守りの目が浸透するように、かつ市民に広く周知啓発されるように継続していくことが重要である。また、ネットトラブルへの対応も早期に行ってほしい。
		ウ 「釧路市ファミリーサポート事業」等、悩みや問題を抱える子どもや親への相談・指導体制の充実を図ります	釧路市ファミリーサポート事業	青少年育成センター	B	B		ファミリーサポーター事業の活性化および不登校支援の強化をしてほしい。各家庭の悩みはそれぞれ違い、一人一人に適したサポートを進める事が期待される。その為にも信頼できる相談員やサポーターが必要であり、増やす努力が必要。各関係団体との連携を強め、今後も継続して欲しい。
	【再掲】少年電話相談	青少年育成センター	—					
	【再掲】教育相談体制の充実	教育支援課	A					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
1 多様な学習機会の提供	(1) ニーズにこたえる学習内容の充実	ア 多くの市民が、興味・関心を持って参加できる内容の講演会やイベントを開催します	博物館講演会	博物館	A	A	市民の興味関心に応える事業を工夫し、それぞれのニーズに合わせた企画や様々な講座を実施している。博物館や遊学館の創意工夫された企画は勿論のこと、2018年はエンジン01in釧路なども開催され、開催前は不安もあったが、釧路に大きな刺激をもたらした。今後も、市民の声を大切にしながら各事業を継続させて欲しい。
			特別展・企画展の開催	博物館	A		
			巡回展「移動博物館」	博物館	A		
			生涯学習フェスティバル	生涯学習センター(生涯学習課)	A		
			こども遊学館講演会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			季節行事	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			宇宙の日イベント	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			サイエンス屋台村	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			サイエンスショー	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			太陽観測会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			天体観測会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			企画展示事業	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			エンジン01in釧路の開催	生涯学習課	A		
			映像アーカイブ上映会	博物館	A		
		イ 釧路を訪れる外国人との交流を図るため、外国語やその国の文化等を知る講座や教室を開催します	市民学園講座「いきいきライフ講座」	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	受講者の反応も良く、アンケート結果も好評と楽しい講座内容だったことが伺える。また、英語講座については、好評を博しながらも2019年度は実施がないが、これは参加者が様々な講座を通じて学習してもらうための措置であり、再度の実施は十分あり得ることである。参加者数に関しては、更なる周知が必要である。
		ウ 子どもたちが自ら学び考える力を育むため、図書館施設と学校図書館が連携した学校ブックフェスティバル事業を実施するなど、豊かな読書活動と多様な学習活動を推進します	図書館資料の充実	図書館(生涯学習課)	A	A	学校等との連携を取りながら、子どもの読書活動推進へ対応を行っている。図書館についてはB評価となっているが、昨年度と比較すると貸出冊数は増加しており、引き続き利用者が増加するように取り組んでもらいたい。
		図書館バスの運行	図書館(生涯学習課)	A			
		子ども読書活動の推進	図書館(生涯学習課)	A			
		図書館資料の提供	図書館(生涯学習課)	B			
		移動図書館「よむよむ」の運行	阿寒生涯学習課	A			
		ふれあい図書館資料の貸出	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	A			
		エ 夏休みや冬休み等における学習活動として、多くの子どもたちが興味・関心を持って参加できる講座の開発に努めます	まが玉を作ろう	埋蔵文化財調査センター(博物館)	A	A	講座対象となる年齢層を絞った内容の工夫が効果的であり、幼児から小中学生や親子、大人の参加者まで楽しめる事業になっている。
		ゴールデンウィークイベント	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		春休み企画	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		夏休み企画	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		冬休み企画	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		各種イベントの実施	美術館	A			
		子ども学習支援	博物館	A			
オ 市民ニーズに対応するため、社会教育施設が持つ様々な機能を活かした学習の機会を提供します	「総合的な学習の時間」プログラム	動物園	A	A	それぞれの施設の機能を活かした事業を実施しており、周知方法の工夫等が効果を上げている。今後は、地域行事形骸化の歯止めとなるべく、こども遊学館の天体観測学習が一定数実施できるような体制にできればなお良いと思う(地域行事への出張天体観測など)。		
図書館行事「見学ツアー」	図書館(生涯学習課)	A					
釧路市中央図書館「調べ学習」コンクール	図書館(生涯学習課)	A					
天体観測学習	こども遊学館(生涯学習課)	—					
サイエンスルーム事業	こども遊学館(生涯学習課)	A					
校外学習支援	こども遊学館(生涯学習課)	A					
出張天体観望会	こども遊学館(生涯学習課)	A					
公民館分館事業	阿寒生涯学習課	A					
体験学習センター(こころみ)各種主催事業	音別町体験学習センター(音別生涯学習課)	A					
学校教育への支援	埋蔵文化財調査センター(博物館)	A					
施設間の連携事業の実施	文化(社会教育)施設	A					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
1 多様な学習機会の提供	(2) 魅力ある講座の展開	ア 年齢や障がいの有無に関わらず、多くの市民が教養や趣味の域を広げられる講座や教室を開催します	くしろ市民大学	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	教養や趣味的分野を広げる内容となっていて良いと感じる。また、音別の講座は人口が少ないという事情も理解できるものの、幼稚園や学校PTA等と連携を行うことや、ニーズにあった内容や市民へのPR等が必要なのではないかと感じる。
			市民学園講座「いきいき女性講座」	生涯学習センター(生涯学習課)	A		
			社会教育講座	音別生涯学習課	B		
		イ シニア世代の人たちが、生きがいや目標を見つけられる講座や教室を開催します	市民学園講座「まなぼとシニア講座(わくわくセカンドライフ)」	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	参加者の希望を取り入れながらの内容、開催等の工夫が功を奏し、好評を博しているようで、成果が出ていると考える。また、この学習が高齢者社会を迎え、危惧される問題が多発している中、釧路の魅力発信と共に「これからの時代をどう生きるか」等具体的なテーマ(高齢者の自動車免許返還問題等)を考える場になっていけばよいと感じている。
			シルバークラス	阿寒生涯学習課	A		
			音別町高齢者学級「音老大学」	音別生涯学習課	A		
		ウ 知識を深化させるため、より専門的な内容の講座や教室を開催します	博物館学芸員トーク	埋蔵文化財調査センター 博物館	A	A	地域食材の取り扱いに工夫がみられる。また、博物館の学芸員の調査研究の成果を聞く事のできる良い機会でもあり、参加人数も多いことから関心の高さを伺わせる。
			地産地消に役立つ料理の学習	生涯学習センター(生涯学習課)	A		
		エ 釧路の歴史や文化・自然・産業等を学べる内容の講座を開催します	郷土講座	図書館(生涯学習課)	A	A	釧路の歴史や文化等を学ぶ講座として充実した内容である。特に博物館は様々な内容を多数考案・実施しており感心する。魅力ある講座も盛り沢山で、沢山の方々に参加されているのが嬉しく思う。なお、これは転入者にとっても意義のある事業だが、市民がより釧路を知り、誇りを持つような取り組みは今後も模索してほしい。
			市民学園講座「釧路学教養講座」	生涯学習センター(生涯学習課)	A		
			市民学園講座「ふるさと講座」	生涯学習センター(生涯学習課)	A		
			釧路産業史講座	博物館	A		
			化石・地質講座	博物館	A		
			学芸員展示解説	博物館	A		
			釧路歴史講座	博物館	A		
		オ 誰もが楽しく気軽に参加できる体験型の講座や教室を開催します	遊びんピック	こども遊学館(生涯学習課)	A	A	子どもから大人の参加者まで楽しめる体験講座内容が充実しており、工夫が生きている。ただし、こども遊学館のプラネタリウム特別投影会はスタッフ不足、視聴覚事業はボランティアメンバーの固定化が課題となっており、これらの課題が評価の低下にならないよう、注視していきたい。スタッフ募集についても工夫が必要である。
			サイエンステーブル	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			自然工作工房	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			工作遊び	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			科学工作会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			工作教室	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			展示活用事業	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			実験教室	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			天文教室	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			伝承遊び	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			プラネタリウム通常投影会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			プラネタリウム特別投影会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
視聴覚事業	こども遊学館(生涯学習課)		A				
室内大型砂場遊び	こども遊学館(生涯学習課)		A				
成人楽集	こども遊学館(生涯学習課)		A				
【再掲】体験学習センター(こころみ)各種主催事業	音別町体験学習センター(音別生涯学習課)		A				



基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
学習環境の充実	(1) タイムリーな情報の提供	ホームページや「生涯学習ハンドブック」により、各施設の講座やイベント、目的にあった学習内容等、最新の情報をわかりやすく提供します	「生涯学習まちづくり出前講座」	生涯学習課	A	A	様々な媒体による情報提供がされており、幅広い年齢層への情報提供、ホームページ等が苦手な高齢者にも対応しているなど工夫がされている。また、生涯学習ハンドブックがB評価だが、市内小中高への配布等が評価できる。今後はより多く印刷して配布することは可能なのかと感じる。
			「広報くしろ」生涯学習インフォメーションによる情報提供	生涯学習課	A		
			「生涯学習ハンドブック」の作成・公開	生涯学習課	B		
			こども遊学館の情報発信	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			施設利用促進のための情報提供	文化振興財団(生涯学習課)	A		
		イ 生涯学習アドバイザーの配置により、生涯学習に関する相談が気軽にできる体制を整えます	生涯学習相談と情報提供	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	特に高齢者は直接説明を受けたいと思うため、窓口で最新の情報が提供されていたり、学習相談ができるのはよいと思う。ただ、具体的成果が見えにくい。成果の判断ができるいずれかのものがあれば今後追記してほしい。
		講座終了後のアンケート実施等、新たな市民ニーズの把握に努めるとともに、多様な媒体による最新の生涯学習情報を提供します	【再掲】「広報くしろ」生涯学習インフォメーションによる情報提供	生涯学習課	A	A	講座終了後のアンケート実施により、更にニーズに合わせた内容の検討を図る事ができて良いと感じる。広報くしろも読みやすくなっており、これで情報を得ているシニア世代は多いと思われる。
			【再掲】「生涯学習ハンドブック」の作成・公開	生涯学習課	B		
			市民ニーズの把握	生涯学習センター(生涯学習課)	A		
			【再掲】施設利用促進のための情報提供	文化振興財団(生涯学習課)	A		
	図書館施設の補修・更新		図書館(生涯学習課)	A	A		
	文化会館施設整備	市民文化会館(生涯学習課)	D				
	生涯学習センター施設整備	生涯学習センター(生涯学習課)	D				
	こども遊学館施設整備	こども遊学館(生涯学習課)	A				
阿寒町公民館施設整備	阿寒生涯学習課	A					
社会教育施設の整備(音別地区)	音別生涯学習課	A					
各施設のAED設置と心肺蘇生法等の応急手当講習会の受講	各文化施設	A					
地域における情報拠点施設として、釧路市中央図書館及び図書館関係施設の機能強化をめざし、資料やレファレンス※の充実を図り、多種多様な学習ニーズの対応に努めます	図書館ネットワークの推進	図書館(生涯学習課)	A	A		図書館ネットワークの推進や職員のスキルアップを図り、図書館機能やレファレンスサービス機能の充実へ努力している。	
	図書館の情報提供機能の充実	図書館(生涯学習課)	B				
	阿寒町公民館図書室資料の充実	阿寒生涯学習課	A				
	ふれあい図書館資料の充実	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	A				
(2) 施設・環境の整備	いつでも、どこでも、だれでも、安心・安全に学習できる社会教育施設をめざし、計画的に整備を進めます	図書館施設の補修・更新	図書館(生涯学習課)	A	A	大規模修繕の未実施は予算の問題であり、それぞれの施設で施設環境の充実や安全確保に努めていると思われる。しかし、文化会館や生涯学習センターは多くの方が利用されるため、早期の施設整備が望ましい。また、生涯学習センターについては図書館移転により若干駐車場は広がったが、上の駐車場からの行き来は厳しいと感じている。	
		文化会館施設整備	市民文化会館(生涯学習課)	D			

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
3 地域に 生きる 学習活 動の推 進	(1) 人材発掘とその育成	ア 専門的指導者等、ボランティアを育成するための講座を開催します	図書館ボランティア育成	図書館 (生涯学習課)	A	A	ボランティア育成事業として充実しており、社会教育の発展に繋がっている。また、ボランティア養成が暫く行われていないが、これは現在の図書館ボランティアの従事内容および能力を鑑みた際に、十分事足りているとの判断による。	
			くしろ情報発信ボランティア養成講座	図書館 (生涯学習課)	A			
			ボランティア活動の学習	生涯学習センター (生涯学習課)	A			
			こども遊学館ボランティア研修	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
		イ 釧路市こども遊学館等の社会教育施設と教育機関が連携を図り、学習活動支援のための担手を育てる取組を進めます	こども関連施設・教育機関支援事業	こども遊学館 (生涯学習課)	A	A		交流の効果が機能したことにより、学校・学生との連携ができていて良いと考える。また、大学生など幅広く対象者を集めているのも良いと思う。
			高等教育機関支援	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
			地域施設間連携事業	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
			特別展・私の博物館	博物館	A			
	(2) 学びの成果を活かせる場の提供	ア 自身の趣味・特技、学習成果を発表できる場や、学習者同士が交流できる場の確保に努めます	こども遊学館ボランティア交流	こども遊学館 (生涯学習課)	A	A	学習者同士の交流が効果的であり、趣味や学習成果を発表できるなど、施策にあった良い事業内容である。	
			博物館友の会との連携	博物館	A			
			【再掲】生涯学習フェスティバル	生涯学習センター (生涯学習課)	A			
			【再掲】地域学校協働本部事業	教育支援課	A			
		イ 講座や学習会等で身につけた学習成果を、ボランティア活動や地域貢献活動として実践できる場を提供します	【再掲】くしろ情報発信ボランティア養成講座	図書館 (生涯学習課)	A	A		ボランティアの研修会や読み聞かせが開催されているなど、学習成果が活かされる内容、また成果発表の場として定着していることを評価する。
			こども遊学館読み聞かせボランティア「おはなし会」	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
			ふれあい図書館「おはなし会」	音別町ふれあい図書館 (音別生涯学習課)	B			

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
1 自然を生かした活動の推進	(1) 豊かな自然環境の保護と啓発	釧路が持つ豊かな自然や動植物の現状・課題等の情報を内外へ広く発信し、自然環境の保護意識を醸成します	出前講座「動物園のお仕事」、「タンチョウ学び隊」	動物園	B	<b>B</b>	努力を行っているのはわかるが、更なる件数増加を望む。また、当該項目は評価が難しい側面があり、Aにするには根拠が不明である。	
		市民が自然に関してより理解を深めるため、ホームページや「広報くしろ」等により、自然の活用方法やその効果等をわかりやすく紹介します	動物園情報の発信	動物園	A	<b>A</b>	Webサイトなど綺麗にまとまっており、新たな情報の発信に努めている点が評価できる。	
			博物館情報の発信	博物館	A			
		国内外の関係機関との学術交流等を通して、希少動植物の種の保存や保護増殖に取り組みます	タンチョウ生息域外保全事業	動物園	A	<b>A</b>	希少大型哺乳類増殖への積極的な取り組みは評価できる。だが、委員として評価するには困難が伴うのも事実である。マリモ及びタンチョウの項目はAで差支えないが、B評価となっている野生のタンチョウにおける感染症調査の項目については、日本大学とのコミュニケーションや連携不足が否めない。	
			野生タンチョウにおける感染症に関する調査事業	動物園	B			
			シマフクロウ生息域外保全事業	動物園	A			
			希少哺乳類の増殖事業	動物園	B			
		マリモの保護・調査研究事業	阿寒生涯学習課	A				
		(2) 多様な自然体験・学習機会の充実	身近な自然とのふれあいを通した、様々な学習機会と内容の充実を図ります	自然観察会	博物館	A	<b>A</b>	年間を通して市民が釧路の自然に触れて理解する企画であり、評価できる。だが、春採湖畔生き物観察会の項目にある冬の生き物観察会については、自然観察会の項目の中に記載する方が妥当。
				自然観察会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
	化石発掘体験学習			阿寒生涯学習課	—			
	春採湖畔冬のいきもの観察会			博物館	A			
	自然や生きものと直接ふれあい、その関わり方や「いのち」の大切さを知るなど、他を思いやる「心の教育」を推進します		サマースクール	動物園	A	<b>A</b>	子どもたちが動物に直接触れることのできる貴重な体験を提供している。こども動物園については、ウサギによる事故もあったが、せつかくの触れ合いの機会は貴重であり、注意しながら工夫して継続してほしい。	
			こども動物園	動物園	B			
			【再掲】「総合的な学習の時間」プログラム	動物園	A			
	釧路の特色ある風土や気候を生かした自然体験学習を提供します		【再掲】自然観察会	こども遊学館(生涯学習課)	A	<b>A</b>	特色ある取組を増やしてほしい。未掲載・再掲など、当該施策にあった内容載せるべきと考える。このほかに特色ある活動の掘り起こしを検討してほしい。	
	自然の美しさ、厳しさ、素晴らしさを体験できる学習機会を提供します		ふれあいと魅力ある学校づくり支援事業「自然体験学習支援事業」	教育支援課	B	<b>A</b>	自然学習に関しては、利用周知の方法等の検討を行ってほしい。自然体験学習支援事業に関してはより積極的に事業展開してほしい。	
			【再掲】釧路市ジュニアリーダー育成事業	教育支援課(生涯学習センター)	A			
		【再掲】チャレンジスクール	阿寒生涯学習課	A				
	自然体験の専門的指導者や施設ガイド等のボランティアの確保に努めます	動物園ボランティア養成事業	動物園	A	<b>A</b>	動物園ボランティアや天文指導員の養成に力を入れており、適正な評価のうえで継続して実施してもらいたい。		
天文指導員養成講座		こども遊学館(生涯学習課)	A					

釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅲ 自然の共生と文化芸術の振興

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 芸術・文化活動の推進	(1) 芸術鑑賞機会の充実	ア ホームページや「広報しろ」等により、芸術鑑賞に関する情報を広く発信します	所蔵作品等巡回展事業	美術館(生涯学習課)	A	A	行政として実施できる範囲の事を行っていると考え。今後も最新の情報を分かりやすく提供できるように、継続して実施を望む。
			観光客や長期滞在者へのPR	生涯学習課	A		
			外国語による案内表示	生涯学習施設	A		
		イ 市民の文化芸術の向上を図るため、広範な芸術を鑑賞できる機会の提供や支援を行います	特別展	美術館(生涯学習課)	A		
			常設展(グラ・コレ、プチ・コレ)	美術館(生涯学習課)	A		
			文化振興助成	生涯学習課	A		
			道立釧路芸術館開催特別展の助成	生涯学習課	A		
			芸術鑑賞事業	市民文化会館(生涯学習課)	A		
			【再掲】所蔵作品等巡回展事業	美術館(生涯学習課)	A		
			道展・釧路移動展	美術館(生涯学習課)	A		
	(2) 多様な文化活動の推進	ア 市民の自主的な活動を支援し、成果発表や参加できる場の拡充に努めます	友好都市出水市文化交流事業	生涯学習課	A	A	事業自体は問題なく行われているが、釧路文化団体連絡協議会への支援については、阿寒支部・音別支部は記載があるが釧路本部が見当たらず、必要に応じて追記が必要と考える。また、他課の行政評価が為されていない点については、放置ではなく、該当項目の評価が担当課で行われているか確認するべきである。
			展覧会事業	文化振興財団(生涯学習課)	A		
			地域文化振興事業「発表機会提供事業」	市民文化会館(生涯学習課)	A		
			阿寒総合芸術祭	阿寒生涯学習課	A		
			釧路市文化団体連絡協議会阿寒支部への支援	阿寒生涯学習課	A		
			釧路市文化団体連絡協議会音別支部への支援	音別生涯学習課	A		
			音別町総合文化祭	実行委員会(音別生涯学習課)	A		
			音別町郷土芸能保存会活動への支援	音別生涯学習課	A		
			釧路市障がい者芸術作品展	障がい福祉課	-		
			文化芸術団体の紹介	生涯学習課	A		
		文化交流の推進	生涯学習課等	A			
		イ 地域や文化団体、学校が連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会の充実や活動へサポートを促進します	各種講習会等開催助成	生涯学習課	A		
			アートスクール事業	美術館(生涯学習課)	A		
			全国・全道大会派遣・開催助成	生涯学習課	A		
			地域文化振興事業「少年少女の芸術活動支援」	市民文化会館(生涯学習課)	A		
			芸術劇場の開催(阿寒地区)	阿寒生涯学習課	A		
			芸術劇場の開催(音別地区)	音別生涯学習課	A		
			学校での文化芸術活動の支援	生涯学習課	A		
	(3) 地域・郷土文化の発展		ア 地域芸能等、郷土の文化・芸術の保存・伝承の取組を行います	郷土史のマイクロフィルム化	図書館(生涯学習課)	A	A
		所蔵資料展		阿寒生涯学習課	A		
郷土資料所蔵室事業		阿寒生涯学習課		A			
郷土芸能の保存・伝承		阿寒生涯学習課		A			
阿寒郷土資料所蔵室移動展示(阿寒町公民館ロビー・特設コーナー)		阿寒生涯学習課		A			
【再掲】音別町郷土芸能保存会活動への支援		音別生涯学習課		A			
郷土芸能「路まつり音頭」の伝承活動		音別生涯学習課		B			
郷土資料の展示		音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)		B			
釧路新書・叢書の発刊		生涯学習課		A			
学校給食		学校給食課		-			
【再掲】学校での文化芸術活動の支援		生涯学習課	A				
文化芸術による地域振興のための情報収集		生涯学習課	B				
イ 地元芸術家や郷土作家、文化芸術団体等の創作活動の支援や顕彰を行います	釧路市文化賞・文化奨励賞	生涯学習課	B	A	釧路市文化賞・文化奨励賞が受賞者0人となっているが、大きな問題はないと考える。発表の場の確保や同賞は活動の励みとなる取組みの為、今後も継続実施を望む。		
	郷土作家展	美術館(生涯学習課)	A				
	郷土芸能保存活動への支援	生涯学習課	A				
ウ 郷土文学の発展のため、郷土文学作家の作品や資料の収集・保存・公開を行います	郷土作家資料の整備	文学館(生涯学習課)	A	A	郷土文学の発展のため、今後も継続して運用して欲しい。		
	釧路地域の文学紹介	文学館(生涯学習課)	A				
	地域資料の公開	図書館(生涯学習課)	A				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
3 文化財の保護とアイヌ文化の保存・継承	(1) 文化財に関する学習機会や情報の提供	ア 地域や学校において、文化財について興味・関心を持ち、学習できる機会の充実を図ります	【再掲】アートスクール事業	美術館 (生涯学習課)	A	A	貴重な作品や文化財について学習する機会の為、継続して実施を行ってほしい。	
			【再掲】巡回展「移動博物館」	博物館	A			
	まちなか企画展		埋蔵文化財調査センター (博物館)	A				
	(1) 文化財に関する学習機会や情報の提供	イ 市民が日常生活を通じて、文化財に親しみ、理解を深める活動の支援と情報の提供に努めます		「文化財マップ」の活用	生涯学習課	A	A	十分行っていると思うが、文化財マップの活用状況については確認が必要。
			ア 文化財となっている希少動植物の増殖や、野生復帰を進めるための調査・研究を行い、その成果の公表および情報の発信に努めます	NPO法人「タンチョウ保護グループ」との共同調査・啓発活動	動物園	B	A	日本のような極度に開発が進んでいる国での大型動物の野生復帰は大きな困難が伴うが、継続した事業実施が望まれる。関係機関との連携等も気を配りつつ、進めてほしい。
	タンチョウの保護・調査研究事業	動物園		A				
	傷病タンチョウの保護・収容事業	動物園		B				
	希少鳥類の保護・増殖事業	動物園		B				
	キタサンショウウオの保護・調査研究事業	博物館		A				
	春採湖のヒブナの保護・調査研究事業	博物館		A				
	【再掲】マリモの保護・調査研究事業	阿寒生涯学習課		A				
	(2) 文化財の保護と調査・研究	イ 市民と協働して行う文化財調査・研究や体験学習を通じ、遺跡・史跡の整備・保存や活用について、意識の高揚を図ります	【再掲】夏休み親子土器作り教室	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A	A	文化財を利用した価値ある取組のため、継続して行ってほしい。	
			遺跡探訪会	埋蔵文化財調査センター (博物館)	-			
			国史跡等探訪会	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A			
			【再掲】北斗遺跡復元住居補修等環境整備	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A			
			国史跡釧路川流域チャシ跡群（ハルトルチャランケチャシ跡）整備	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A			
			北斗竪穴まつり	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A			
			竪穴住居屋根ふき体験	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A			
	ウ 釧路市の貴重な文化財を自然災害等から守るため、関係機関との連携によりその保全に努めます		指定文化財の審議	生涯学習課	A	A	文化財の保存・活用に向けて更なる取組を進めてほしい。	
		【再掲】北斗遺跡復元住居補修等環境整備	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A				
		【再掲】国史跡釧路川流域チャシ跡群（ハルトルチャランケチャシ跡）整備	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A				
(3) アイヌ文化の保存と継承	ア 「アイヌ古式舞踊」等、アイヌ民族の伝統芸能の保存・継承のため、伝承活動を支援します	春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会助成	生涯学習課	A	A	アイヌ文化の保存・伝承が各種市民活動の中で広まることが期待されるため、今後も積極的な取り組みを行ってほしい。また、「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議への参加」事業については、名称変更等も含めて再考する必要がある。		
		アイヌ文化情報発信ネットワーク会議への参加	生涯学習課	B				
		阿寒アイヌ民族文化保存会活動助成	阿寒生涯学習課	A				
		イオル再生事業の推進	生涯学習課	A				
	イ アイヌ語の伝承やムックリの創作活動等、アイヌ民族の歴史・文化への理解を深めるため、学校と連携し、出前授業を行うなど、学習機会の拡充に努めます	北海道ふるさと教育推進事業	学校教育課	A	A	子ども達がアイヌ文化に触れる機会を更に増やすため、同事業については、より多くの学校での開催が望まれる。しっかりと計画的に進めてもらいたい。		
		アイヌ関連授業への支援（アイヌの歴史や文化に関する学習プログラム）	教育支援課 生涯学習課	A				
ウ アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生に向けた事業を推進し、アイヌ文化の保存と伝承を図るとともに、理解を深めるための普及啓発に努めます	【再掲】イオル再生事業の推進	生涯学習課	A	A	イオル再生事業については、事業の実施期間中に発生した問題や内容の見直し・再検討などを行ないながら、きちんと進めてもらいたい。			

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
健全な心と身体を育む活動の推進と強化	(1) 学習機会と相談体制の充実	ア 運動に関する基礎技術や知識を習得し、運動意欲を高める講座・教室等を開催し、学習活動の活性化を図ります	ミニテニス審判養成講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A	A	参加者数も多く事業目的も達成されているため、継続して実施してほしい。また、若い人が世界的に活躍しているスポーツのため、参加者の増員をはかる方法を考えてほしい。	
			ソフトバレーボール審判養成講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			健康ウォーキング教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B			
			家庭婦人バレーボール審判講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			クライミング検定会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			クライミング技術講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			イ 運動に関する相談サービス等、市民の多様なニーズに対応できる体制を整えます	スポーツ相談サービス	スポーツ課 釧路市体育協会			A
	(2) 健康維持と体力向上の取組	ア 体力測定の実施等、市民が日常生活習慣をふりかえられる機会の拡充を図ります	軽スポーツエンジョイ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	C	D	D	根本的に必要か考えるべき。Ⅳ部会は事業数が多いため、事業廃止も考えた方がよいと思われる。
			健康ウォーキング	各施設指定管理者 (スポーツ課)	D			
			生活習慣に関する調査及び運動実践事業	健康推進課	-			
		イ だれもが気軽に参加できる基礎的な運動講座・教室等を開催し、個々の運動能力の向上を図ります	ピラティスdeシェイプアップ	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A	A	フラダンスおよびラジオ体操については再考が必要。C・D事業については、他事業への変更や廃止等を検討しても良いかと思われる。	
			やってみよう！フラダンス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	D			
			夜間太極拳	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			リラックスヨーガ	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			ナイトヨーガ 1部・2部	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			楽々！健康体操	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			ラジオ体操	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B			
			かけっこ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			スタイルアップ骨盤調整	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
			運動不足解消ウォーキング	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B			
			健康ストレッチ	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
武道館de一緒に親子遊び	各施設指定管理者 (スポーツ課)	C						
水泳教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A						
水中ウォーキング教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A						
ゆったりストレッチ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A						
イクストリーム55	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B						
小学生アスレチック教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B						
【新規】ロコモ大丈夫ですか？	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A						

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 生涯スポーツの推進と強化	(1) 参加機会の充実	ア スポーツへの参加機会の拡充を図るため、初心者が興味・関心を持てる教室を開催します	ミニテニス無料体験会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A	A	どの事業も受講者が多く、好評を得ているため、継続実施が望まれる。また、年長を対象とした事業や小学校剣道教室・一笑懸命等の事業は、スポーツ少年団の活動とリンクさせてほしい。あわせて、体育協会の扱いについても、スポーツ振興財団とあわせるなどの検討が必要。
			夜間ミニテニス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			年長さん体操教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			ミニバスケットボール教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			クライミング体験会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			やってみよう！バドミントン	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			アスリート発掘事業	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			ジュニアソフトテニス教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			夜間初心者硬式テニス教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			パークゴルフ初心者初級実践教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			小学生スケート教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			年長さんスケート教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			年長さんからのアイスホッケー教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			ニュースポーツ無料体験	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			短期水泳教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			冬休みはじめてのスケート体験	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			小学生剣道教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	D		
		フィギュアスケートレッスン	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B			
		【新規】一笑懸命	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B			
		イ 体を動かす楽しさや爽快感を実感し、継続してスポーツの継続意欲向上を図ります	社会体育指導員の派遣	スポーツ課	A	A	好評を得ているため、継続実施してほしい。また、現状のように単体的な人集めを行うのではなく、各種スポーツを提案し、子供達に選ばせるのも良いと思う。
			ミニテニス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			やさしいエアロ月曜コース	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			小学生体操教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			幼児アスレチック教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			小学生ヒップホップ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			レスリングホッケー教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			小学生水泳教室	各施設指定管理者 (阿寒生涯学習課)	A		
			子ども水泳教室	各施設指定管理者 (阿寒生涯学習課)	A		
			子どもスポーツ教室	各施設指定管理者 (阿寒生涯学習課)	A		
		【新規】インファントクラス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A			
		ウ 「釧路湿原マラソン」等、気軽に参加できるイベントの内容充実に努めます	釧路湿原マラソン	実行委員会(スポーツ課)	A	A	性別や世代を超えた交流が図れる事業であり、順調に行われていると感じる。このまま継続を続けてほしい。
			釧路市体育祭の開催	スポーツ課	A		
			湿原の風アリーナ釧路感謝祭	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			サイクルスポーツ大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			サマーキッズスクール	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			新春スポーツ無料開放DAY	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			エンジョイイベントの開催	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			阿寒ウルトラオリムピック	阿寒生涯学習課	A		
		エ 高齢者や障がい者が安心して参加できるスポーツの機会と場の確保に努めます	介護予防指導	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A	A	事業は好評を得ている。今後は、連合町内会との連携を図り、更なる広報活動を行う等の取り組みが必要と思う。
			高齢者サークル指導	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			軽スポーツ体験会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			シニア軽スポーツ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
第36回釧路市身体障がい者スポーツ大会	障がい福祉課		—				
第33回釧路湿原全国車いすマラソン大会	障がい福祉課		—				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
2 生涯スポーツの推進と強化	(2) 地域スポーツ活動の活性化	あらゆる年齢層が多種目のスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの推進を図り、スポーツによる地域一体感の醸成と非常時にも支え合える地域コミュニティの維持・再生を促進します	総合型地域スポーツクラブの育成	スポーツ課	B	A	広域スポーツセンターの事業は根室・十勝圏からの参加もあり、大変有意義だと思うので、今後も継続してほしい。阿寒地区の小中学生は、スポーツ少年団の活動が必要。	
			広域スポーツセンター機能の充実	スポーツ課	B			
			総合型地域スポーツクラブの育成（阿寒地区）	各施設指定管理者（阿寒生涯学習課）	A			
			阿寒地区初心者スケート教室	各施設指定管理者（阿寒生涯学習課）	A			
		市民親善フロアカーリング大会や軽スポーツ大会等、地域間や参加者同士の交流を深める場の提供に努めます	市民親善フロアカーリング大会	スポーツ課	A	A		音別地区はB評価だが、努力を行っていると考え。今後も単なる継続ではなく、工夫・充実を図りながら、続けてほしい。
			地域スポーツ大会の開催	スポーツ課	A			
			市長杯パークゴルフ大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A			
			理事長杯争奪ソフトボール大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A			
			釧路市体育協会阿寒支部主催事業	体協音別支部（阿寒生涯学習課）	A			
			軽スポーツ大会	音別生涯学習課	B			
	ミニバレーボール大会		音別生涯学習課	B				
	親子で参加できる教室や、異世代が交流できる内容のイベントを開催するなど、スポーツへの参加機会の拡充を図ります	親子de一緒にバドミントン	各施設指定管理者（スポーツ課）	A	A	このような事業は家族と行う事が大事である。良い企画も多く、この先も参加者増加等に繋がる工夫・充実を図り、継続してほしい。		
		親子deクライミング	各施設指定管理者（スポーツ課）	A				
		親子スケート教室	音別生涯学習課	B				
		ファミリースポーツ交流会	音別生涯学習課	A				
	(3) 特色あるスポーツ活動の推進	釧路の気候風土を活かした、特色あるスポーツ活動を推進します	市長杯長靴アイスホッケーチャンピオンズ大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A	A	アイスホッケー・カーリングだけではなく、もう少し他事業を増やしても良いのでは。カーリングは釧路市内にも会場を整える必要があり、難しいければ音別の会場整備という方向もあるかどうか。	
			カーリング大会	音別生涯学習課	B			
			子どもカーリング教室	音別生涯学習課	B			
		生涯スポーツの活性化を図るため、誰でも気軽に参加できる軽スポーツやニュースポーツ※の普及に努めます	ニュースポーツの普及・開発	スポーツ課	B	B	取り組み自体は良いが、特色を活かしたスポーツ活動が無いのでは寂しすぎる。新しいスポーツを開発するのは難しい部分があるが、今後も協議や開発を続け、普及にこぎつけてほしい。	



釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅳ 健全な心と身体を育む活動の推進と強化

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
3 競技スポーツの振興	(1) 競技力の向上	全道・全国・国際大会等で活躍する選手を育成するため、幼少時から計画的な専門的指導を受けられる環境を整え、競技力の向上を図ります	JFANAでしこひろばin湿原の風アリーナ釧路	各施設指定管理者(スポーツ課)	A	A	少子化の流れに負けず、チーム数や競技人口を確保しながら、今後とも力を注ぎ、長く続けてほしい。  事業の多くは大会目的が達成されており、毎回盛大に実施されている。この先もインターハイ等の誘致を積極的に実施し、取り組みを継続して欲しい。
			トップスポーツ技術講習会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			スピードスケーティングスクール	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
		全道・全国・国際大会等で活躍する選手を育成するため、各競技の大会を積極的に開催し、競技力の向上を図ります	全日本少年アイスホッケー大会(中学生・男子の部)	スポーツ課(実行委員会)	A		
			理事長杯U-10フットサルフェスティバル	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			市長杯少年柔道大会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			理事長杯全道ミニテニスフェスティバル	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			理事長杯小学生バレーボール大会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			理事長杯U-10ミニバスケットボール大会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			釧路小学生陸上競技大会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			理事長杯U-9サッカーフェスティバル	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			市長杯少年アイスホッケー大会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			釧路市少年剣道大会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			【再掲】ブロンズ像友好釧路市八千代市少年少女スポーツ交歓大会	各施設指定管理者(スポーツ課)	A		
			ウ 地元優秀スポーツ選手の顕彰を行い、競技スポーツの意識の向上に努めます	釧路市スポーツ賞	スポーツ課	A	
	釧路市長特別表彰	スポーツ課		-			
	釧路市教育長特別表彰	スポーツ課		-			
	(2) スポーツ少年団の育成	ア 地域や学校に働きかけるなど、スポーツ少年団や団員を増やす取組を行います	スポーツ少年団への加入促進	釧路市体育協会(スポーツ課)	B	C	学校単位での少年団活動が難しくなっているため、スポーツをやりたい子供達ができなくなることがないよう、少年団同士、地域との連携交流を深めていく必要性を感じる。スポーツ課・創体協・スポーツ財団とも連携を行い、スポーツ少年団をどのように見直していくか、少子化のため厳しいものがあるが、スポーツの楽しさを感じてもらえるよう工夫が必要。  阿寒・音別の活動については、努力していると思う。少年団活動が年々難しくなっており、少年団・地域との連携や交流等を深めてほしい。ガールスカウト・ボーイスカウトなども協力すると良いかもしれない。
			冬の子どもスポーツフェスティバル	阿寒生涯学習課	A		
		イ スポーツ少年団の活性化を図るため、スポーツ少年団員同士の交流を深める様々な事業を展開します	釧路市スポーツ少年団スポーツ交流会	釧路市体育協会(スポーツ課)	A		
			釧路市・釧路管内スポーツ少年団ジュニアリーダースクール	釧路市体育協会(スポーツ課)	A		
			日独スポーツ少年団同時交流派遣	釧路市体育協会(スポーツ課)	-		
			少年団種目別交流大会	釧路市体育協会(スポーツ課)	B		
			スポーツ少年団体力テスト会	釧路市体育協会(スポーツ課)	A		
			【再掲】冬の子どもスポーツフェスティバル	阿寒生涯学習課	A		
			スポーツ少年団研修交流会	スポーツ少年団(音別生涯学習課)	B		
			(3) 競技スポーツ活動への支援	ア 全道・全国・国際大会やスポーツ合宿等を積極的に誘致し、地元選手の競技力向上を図ります	各種大会の誘致活動	スポーツ課	
合宿誘致活動	スポーツ課	A					
イ 全道・全国・国際大会に出場する小中高生選手に対し派遣助成を行うなどの支援を行います	全道・全国大会等派遣助成	スポーツ課		A	B		
ウ 地元で開催する全道・全国・国際大会等への開催助成を行います	全道・全国大会等開催助成	スポーツ課		B	B		
エ 各種競技団体が主催する研修会・講習会等の開催への支援を行います	競技団体スポーツ講習会開催助成	スポーツ課	A	A			

釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅳ 健全な心と身体を育む活動の推進と強化

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント				
4 スポーツ振興のための基盤整備	(1) スポーツ施設の充実	既存スポーツ施設の長寿命化及び有効活用を計画的に推進し、安心・安全で快適な施設の充実に努めます	春採アイスアリーナの整備	スポーツ課	A	A	施設整備は計画通りに進めているため、今後も引き続き実施してもらいたい。				
			柳町アイスホッケー場の整備	スポーツ課	A						
			パークゴルフ場の整備	スポーツ課	A						
			スポーツ施設における煙突用断熱材（アスベスト）調査	スポーツ課	A						
			柳町スピードスケート場の整備	スポーツ課	A						
			鳥取温水プールの整備	スポーツ課	A						
			湿原の風アリーナ釧路の整備	スポーツ課	A						
			阿寒町総合運動施設の整備	阿寒生涯学習課	A						
			音別町運動施設の整備	音別生涯学習課	A						
			イ	地域におけるスポーツ活動の拠点として、小中学校の体育館・グラウンドの有効活用を図ります	学校体育施設の開放			スポーツ課	A	A	施設利用が有効に使用されている。今後も継続実施してもらいたい。
	学校体育施設の開放	阿寒生涯学習課			-						
	ウ	競技者の安全を確保するため、スポーツ活動時における不測の事態に備え、施設における救急体制の整備に努めます			スポーツ施設におけるAEDの整備 (スポーツ施設指導員対象)救命救急講習会の実施	スポーツ課	A	A	今後とも実施してもらいたい。実績が不明。		
					スポーツ施設におけるAEDの整備	阿寒生涯学習課	A				
	ウ	競技者の安全を確保するため、スポーツ活動時における不測の事態に備え、施設における救急体制の整備に努めます	AED・CPR等の講習会の開催	音別生涯学習課	A						
			ア	地域での身近なスポーツ活動の推進や学校での部活動を支援するための指導者の養成を図ります	地域スポーツリーダーの養成	スポーツ課	A			A	リーダーバンクについては再考が必要と感じる。整備されていても、利用がされなければ勿体ない。
	地域スポーツリーダー研修会	スポーツ課			A						
	釧路市地域スポーツリーダー協議会	スポーツ課			A						
	スポーツ指導員「リーダーバンク」の養成と確保・活用	スポーツ課			C						
	イ	適正なスポーツ倫理を身につけた専門的指導者の養成を図るため、関係団体と連携し、各種研修会や講演会等の開催を促進します	スポーツ推進委員協議会	スポーツ課	B	A	どの事業も目的が果たされており、充実したものとなっている。だが、少年団については再考を要し、今後は体協を絡めた活動に変更していくべきと考える。				
			スポーツ少年団指導者協議会運営委員会	釧路市体育協会 (スポーツ課)	A						
			スポーツ少年団・母集団交流研修会	釧路市体育協会 (スポーツ課)	A						
			スポーツ少年団母集団・指導者研修会	釧路市体育協会 (スポーツ課)	A						
			スポーツリーダー養成講習会・スポーツ少年団認定員養成講習会	釧路市体育協会 (スポーツ課)	A						
			ウ	市民ボランティアの参画によるスポーツ大会を開催するため、関係団体との連携を強化します	市民協働型事業			スポーツ課	A	A	市民ボランティア組織の活用はこれからのスポーツ開催には大切。ボランティア間の連携を考慮してもらう必要がある。
(3) スポーツに関する情報提供の充実	ア	各種施設の利用状況や講座・イベントの開催等、ホームページや「広報くしろ」等で最新の情報をわかりやすく提供します	「広報くしろ」による講座・イベント等の情報提供	スポーツ課	A	A	様々な媒体を使って情報発信がされている。今後は、紙媒体の縮小も視野に入れながら、継続して行って欲しい。				
			「市P連だより」による講座・イベント等の情報提供	スポーツ課	A						
			ホームページによる施設等の情報公開①	スポーツ課	A						
			ホームページによる施設等の情報公開②	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A						
			ホームページによる施設等の情報公開③	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A						
			スポーツ振興財団機関誌「YELL」の発行	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A						
	イ	年齢や体力に応じた、スポーツ医・科学に基づくトレーニング方法等の情報をわかりやすく発信します	湿原の風アリーナ釧路トレーニング室マンツーマン指導	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B	B	1日3回開催することで、沢山の受講者を獲得できている。今後は、この活動を子どもたちに広げていけるほか、トレーニングマシンの種類・性能等を市民に周知し、時間別の利用率も示して全体的な周知を行ってほしいと思う。				
	ウ	アンチドーピングに関する知識を提供します	【再掲】トップスルーツ技術講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A	A	スポーツ活動において欠かせない部分であり、今後も通年の開催を続けてほしい。				

## 釧路市社会教育推進計画第1次（平成30年度）実施計画の評価（分析・考察）

### 基本方針Ⅰ（事業数92、施策数28）

行政が行った事業の評価（行政評価）では、A評価52(56.5%)、B評価11(12.0%)、C評価1(1.1%)、D評価1(1.1%)、評価対象外27(29.3%)であった。

評価対象外事業は、市長部局（健康推進課、市民協働推進課、こども育成課、こども支援課）事業である。また、青少年育成センターが行っている電話相談や巡回指導等は評価できないため評価対象外となっている。

社会教育委員が行った具体的施策の評価（委員評価）では、A評価19(67.9%)、B評価6(21.4%)、C評価0、D評価1(4.0%)、E評価0、評価対象外2(7.1%)であった。

施策数28のうち、A評価とB評価を合わせ約89%であり、具体的施策が概ね計画どおり達成されたとの評価であった。

### 基本方針Ⅱ（事業数106、施策数19）

行政評価では、A評価97(91.5%)、B評価6(5.7%)、C評価0、D評価2(1.9%)、評価対象外は1(0.9%)であった。

委員評価では、A評価19(100%)、B評価0、C～E評価0、評価対象外0であった。

施策数19のうち19がA評価であり、具体的施策が計画どおり達成され、成果が十分にあったという評価であった。

### 基本方針Ⅲ（事業数95、施策数23）

行政評価では、A評価78(82.1%)、B評価13(13.7%)、C評価0、D評価0、評価

対象外は4(4.2%)であった。

委員評価では、A評価22(95.7%)、B評価1(4.3%)、C～E評価0、評価対象外0であった。

施策数23のうち22がA評価であり、具体的施策が計画どおり達成され、成果が十分にあったという評価であった。

#### 基本方針Ⅳ（事業数156、施策数31）

行政評価では、A評価112(71.8%)、B評価30(19.2%)、C評価3(1.9%)、D評価3(1.9%)、評価対象外は8(5.1%)であった。

委員評価では、A評価24(77.4%)、B評価5(16.1%)、C評価1(3.2%)、D評価1(3.2%)、E評価0、評価対象外0であった。

施策数31のうちA評価とB評価合わせ約94%であり、具体的施策が概ね計画どおり達成されたとの評価であった。

#### 第5次（平成29年度）評価との比較

##### 1. 行政評価（全体）

###### (1) 行政評価「A」について

29年度→71.4%     30年度→75.5% とやや増えており、29年度評価B以下の事業がランクアップしたことによるものである。

###### (2) 行政評価「B」について

29年度→13.3%     30年度→13.4% と件数が減っているが比率が増えているのは、全事業数も同様に減っていることによるものである。

###### (3) 行政評価「C」について

29年度→1.7%     30年度→0.9% と減っている。29年度C評価を受けたもの

の内、数事業がランクアップしたことによるものである。

#### (4) 行政評価「D」について

29年度→1.9%     30年度→1.3% と減っている。29年度D評価を受けたものの内、数事業が事業の見直しによりランクアップしたことによるものである。

★全件数は、平成29年度は465件に対し、平成30年度は449件と16件の減、A評価が平成29年度332件に対し、平成30年度339件と7件の増となった。各A評価比率が増えており、各課においては事業の内容を精査するなど、よりよい事業展開のための工夫の取組がなされたものと考えられる。  
全体事業数の減についての変更については、新計画へと移行し、施策の方向や具体的な施策の見直しや、事業自体の見直しにより大きく変化したためである。

## 2. 委員評価（全体）

#### (1) 委員評価「A」について

29年度 79.6%     30年度 83.2%と約4%(6件の増)となった。

#### (2) 委員評価「B」について

29年度 12.2%     30年度→11.9%と約0.3%の減となったが件数は同数であった。

#### (3) 委員評価「C」について

29年度 2.0%     30年度→1.0%と約1.0%(1件の減)となっている。

#### (4) 委員評価「D」について

29年度 3.1%     30年度→2.0%と、約1.1%の減(1件の減)となっている。

#### (5) 委員評価「E」について

29年度 0%     30年度 0%と、変更なしとなっている。

★全体的には、A評価が増加したことで、その影響でB評価割合が同数ながら比率が減少している。C～D評価の比率は減少しており、全体としてより良い事業展開がなされているという委員評価であった。

## 【考察】

行政評価、委員評価ともにA評価の件数および比率が増加しており、全体として事業改善がみられる結果となった。

4部会共通の意見としては、事業内容および実施結果についての記載をより充実させることや、事業実施に必要な人員の確保のほか、未実施の事業における内容修正・廃止も視野に入れた見直し等が挙げられた。また、部会ごとの意見として、Ⅰ部会では各種相談体制の見直しのほか、各企画におけるニーズ精査の上の問題提起、人材発掘に繋がるような宣伝、特別補導に関する頻度・回数の見直し等、Ⅱ部会では事業の更なるPRや周知、スタッフ募集の工夫のほか、成果の判断が行えるような結果の具体化等が挙げられている。また、Ⅲ部会では連携先とのコミュニケーションや施策に合致した内容の掲載、特色ある取組の増加等、Ⅳ部会では相談・対処件数や助成額の具体的な記載、C・D事業の変更・廃止などの再検討、特色を活かした活動増加、各団体との連携交流等が挙げられた。

評価外対象事業については、該当項目の評価が各担当課で行われているのか確認を行うべきという意見のほか、間に合っていない行政評価の改善を求める声が寄せられており、次期計画において、対応の検討を行う必要性がある。